

情報公開文書

「千葉県がんセンター脳神経外科包括的観察研究」 「転移性脳腫瘍患者に対する分子標的治療から定位照射の sequential な治療 における至適照射時期」

版管理：ver1.0（2026年5月14日）

この研究は、「千葉県がんセンター脳神経外科包括的観察研究」の中の個別研究で、脳神経外科関連の学会で発表を予定しております。

この研究に、あなたの情報を用いられることをあなたまたは代諾者の方にご了承いただけない場合は、下記連絡先までお申し出ください。

1. 研究の対象となる方

1972年11月以降に千葉県がんセンター脳神経外科の診療を受けた転移性脳腫瘍の患者さん

2. 研究目的・研究の方法

分子標的治療と定位照射をどのような時期に組み合わせて治療するのが望ましいのかを検討するために、カルテデータを収集し各種の解析を行います。解析した結果は匿名化した集計データとして公表します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、診療録から診療情報を収集します。手術材料などの試料は用いません。収集する診療情報は、カルテに記載された、病歴、検査結果・診断・治療の方法・治療効果・副作用、転帰等です。研究のために、新たに行う検査・治療などはありません。

収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報(氏名、ID、生年月日、住所等)を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。

研究責任者は 堺田 司(脳神経外科)、研究分担者は、井内俊彦・長谷川祐三・瀬戸口大毅・細野純仁(いずれも脳神経外科)です。

5. 個人情報の保護について

個人情報 は千葉県がんセンター内でのみ利用し、施設外には持ち出しません。解析した集計データは、完全に匿名化されていることを情報管理責任者（堺田 司）が確認したのち、施設外への持ち出しを可能とします。解析した集計データは、個々の患者さんを特定することが不可能であることを再確認してから、学会や学術雑誌等で発表を行います。研究終了後、解析に用いた個人情報は研究責任者（堺田 司）の責任の下、施錠可能な保管場所に厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。

6. 研究の資金源及び利益相反について

本研究は、千葉県がんセンターが受託した治験等から配分される研究資金や競争的研究資金（科研費など）を用いて行います。千葉県がんセンター脳神経外科が関わる治験の情報、受領している研究資金とその用途は、それぞれ千葉県がんセンター治験事務局、医事経営課が管理しています。研究者個人の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究責任者:千葉県がんセンター、脳神経外科、堺田 司

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2 TEL:043-264-5431(代表番号)